

令和6年度
南魚沼市

ま ち づ く り

アンケート調査結果報告書【ダイジェスト版】

市民の皆さんにご協力いただいた「まちづくりに関するアンケート」の調査結果がまとまりました。
この調査は、本市のまちづくりの最上位計画「第2次南魚沼市総合計画」の点検・見直しとともに、
これからのまちづくりに役立てることを目的として、おおよそ5年ごとに実施しているものです。

【調査の概要】

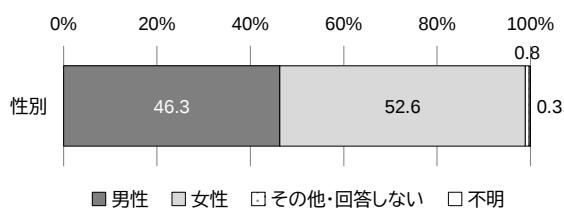
調査対象	満18歳以上の市民2,800人
抽出方法	令和6（2024）年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	配布は郵送、回収は郵送またはインターネット専用フォームによる回答
調査期間	令和6（2024）年7月1日（月）～7月31日（水）
有効回収数（n）	980人（有効回収率35.0%）

【集計・分析方法と見方】

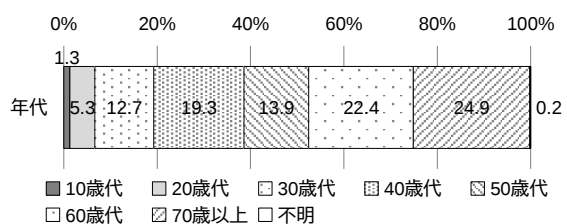
- 集計結果における構成比率（%）の数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、表示している数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 文章中では、令和元（2019）年度調査を「前回」、平成26（2014）年度調査を「前々回」、これらを合わせて「過去2回」と示しています。
- 図表の中で「n」で示される数値は、各質問への回答者数を示し、構成比率（%）を算出するための母数となります。
- 各調査の有効回収数「n」は、特にことわりがない場合、本調査が980人、令和元年度（前回）が1,197人、平成26年調査（前々回）が1,029人です。

【回答者の属性】

○性別は、男性46.3%、女性52.6%



○年代は、70歳以上（24.9%）、60歳代（22.4%）がそれぞれ2割以上、次いで40歳代（19.3%）が約2割

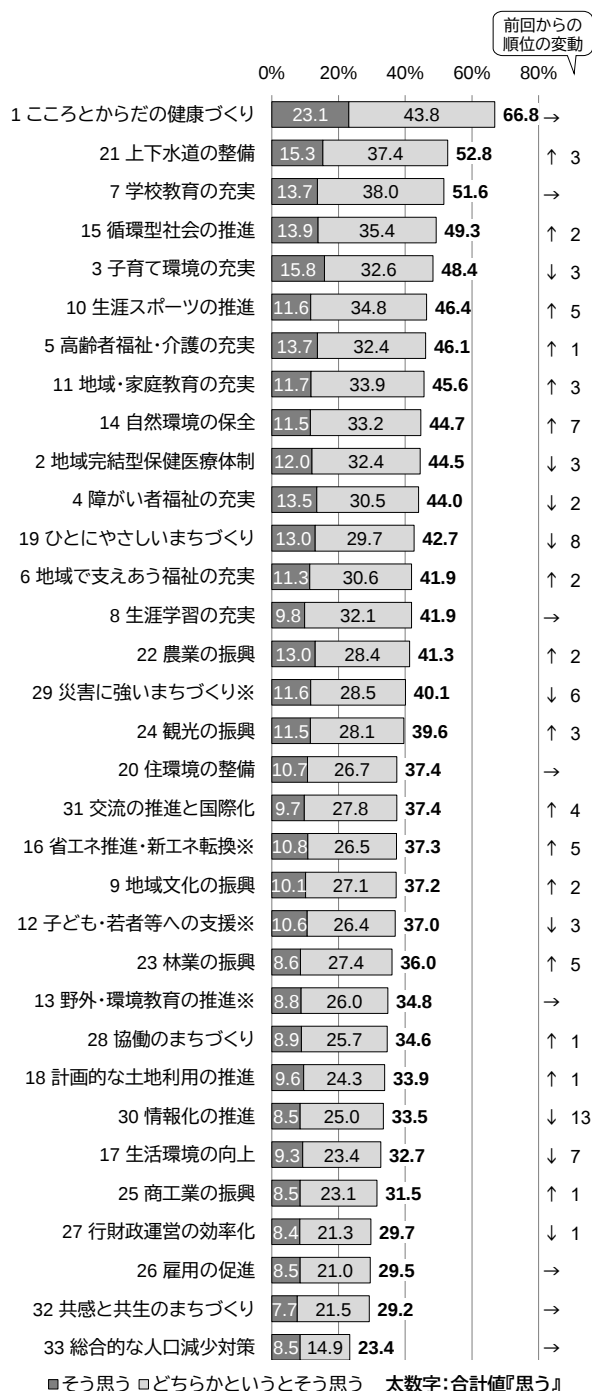


まちづくりの現状評価と 今後取り組むべきこと

- ①まちづくりの取組が進められていると思いますか。
②今後力を入れて取り組むべきことはどれですか。

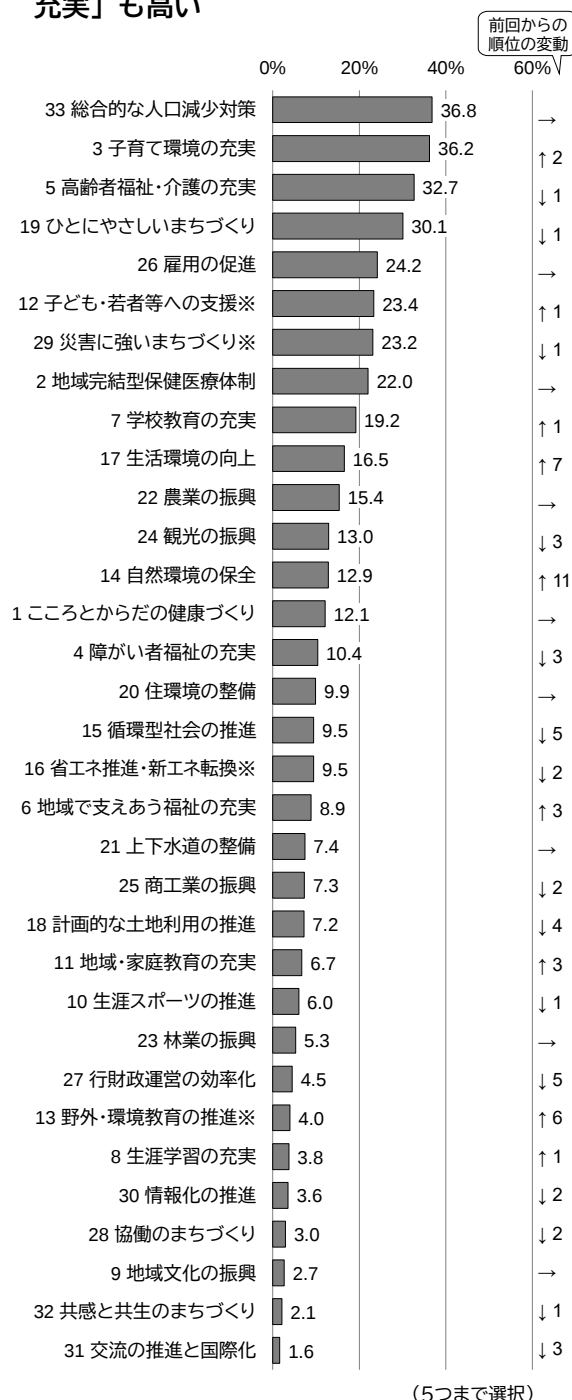
①まちづくりの現状評価

- 「こころとからだの健康づくり」が最も高く、
「総合的な人口減少対策」が最も低い



②今後力を入れて取り組むべきこと

- 「総合的な人口減少対策」が最も高く、
「子育て環境の充実」「高齢者福祉・介護の充実」も高い



※名称の一部を省略して表示している項目があります。特に※印の項目は調査票ではそれぞれ以下のとおり表示しています。
災害に強いまちづくり→災害に強い安全と安心のまちづくり、省エネ・新エネ転換→省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換、子ども・若者等への支援→子ども・若者やその家族への支援の充実、野外・環境教育の推進→地域に根ざした野外・環境教育の推進

※各項目冒頭の番号は調査票における項目番号

※各図右側の数字は前回から上下した順位数（前回と同順位は「→」、順位上昇は「↑」、順位下降は「↓」と表示）

○「①まちづくりの現状評価」について、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「こころとからだの健康づくりの推進」(66.8%)が約7割で最も高く、次いで「上下水道の整備」(52.8%)、「学校教育の充実」(51.6%)の2項目がそれぞれ5割以上
一方、「総合的な人口減少対策の推進」(23.4%)が最も低い

○「②今後力を入れて取り組むべきこと」(重要性)を見ると、「総合的な人口減少対策の推進」(36.8%)、「子育て環境の充実」(36.2%)の2項目が約4割で同程度に高く、次いで「高齢者福祉・介護の充実」(32.7%)、「ひとにやさしいまちづくり」(30.1%)の2項目がそれぞれ3割以上
一方、「交流の推進と国際化」(1.6%)が最も低い

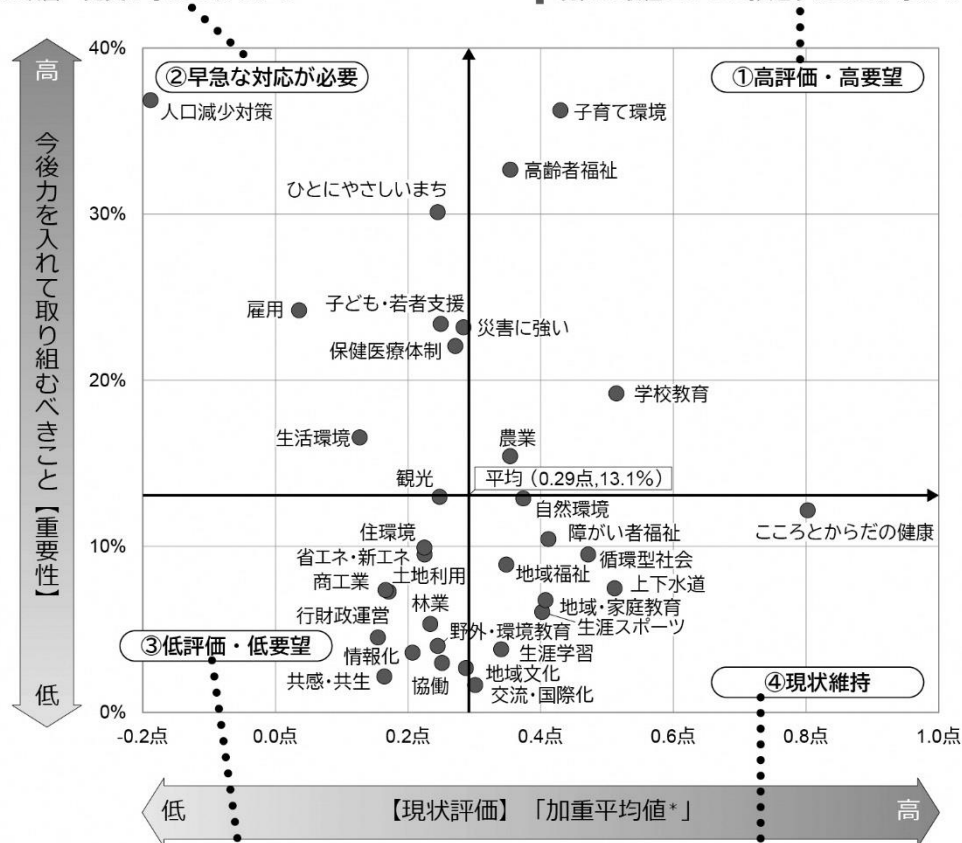
「①まちづくりの現状評価」と「②今後力を入れて取り組むべきこと」(重要性)を組み合わせると、下図のように分類できます。

②早急な対応が必要：現状評価【低】×重要性【高】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性が強く認識されている。
早急な改善・充実が求められている

①高評価・高要望：現状評価【高】×重要性【高】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性も強く認識されている。
現在の取組をさらに推進することが求められている



③低評価・低要望：現状評価【低】×重要性【低】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしてあまり強く認識されていない。
必要性の周知を含めた、中・長期的視点による施策の見直し求められている

④現状維持：現状評価【高】×重要性【低】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしてあまり強く認識されていない。
現状の取組を維持しつつ、必要な見直しやさらなる周知を進めることが求められている

※名称の一部を省略して表示

*加重平均値：「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思うわない」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられます

2 市民サービスの評価

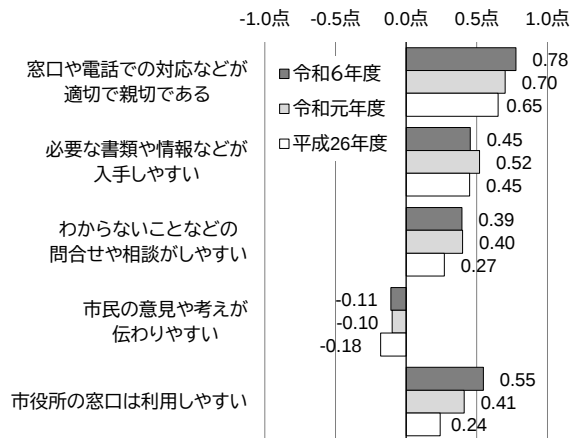
南魚沼市の住民サービスについてどう思いますか。

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」「市役所の窓口は利用しやすい」の評価が高い
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い

○各項目の加重平均値*を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(0.78点)が最も高く、次いで「市役所の窓口は利用しやすい」(0.55点)が高い

○一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(-0.11点)が最も低く、5項目中で唯一マイナス値

○過去2回の調査と比較すると、上位2項目はいずれも評価が高くなる傾向



*加重平均値:「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価と考えられます

3 市民サービスのデジタル化

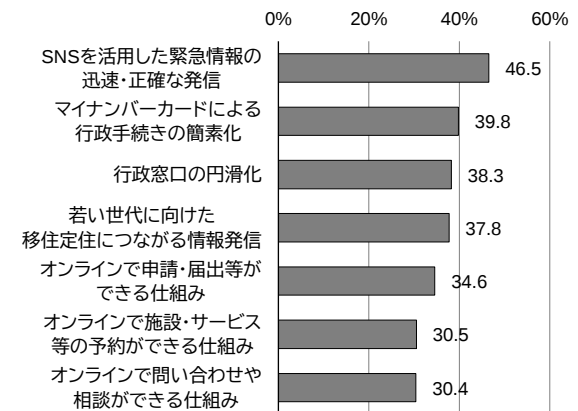
デジタル化が進んでほしい市民サービスは何ですか。(すべて選択)

- 「SNSを活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が約5割で最も高い

○「SNSを活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」(46.5%)が約5割で最も高い

○次いで「マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化」(39.8%)、「行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)」(38.3%)など3項目が約4割

※名称の一部を省略して、17項目中30%以上の項目を表示



4 市政への関心

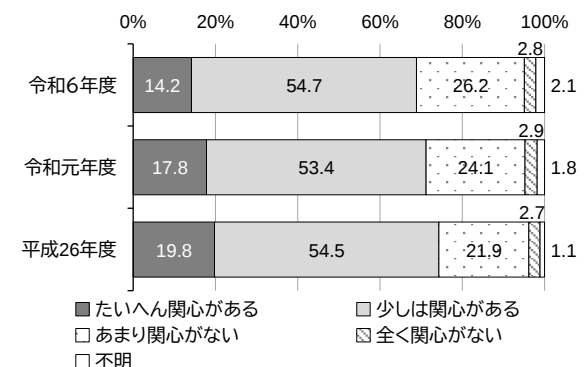
市政に関心がありますか。

- 合計値『関心がある』は約7割で高いが、関心度は低下傾向

○「少しは関心がある」(54.7%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(26.2%)が2割以上、「たいへん関心がある」(14.2%)が1割以上

○「たいへん関心がある」「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(68.9%)は約7割

○過去2回の調査と比較すると、合計値『関心がある』は、前回(71.2%)や前々回(74.3%)より低い



5 市政情報の入手方法

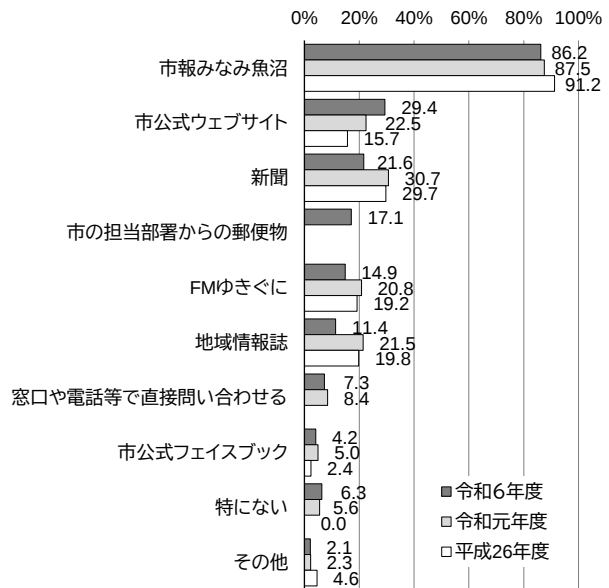
市政に関する情報を何から得ていますか。(すべて選択)

- 「市報みなみ魚沼」が8割以上で特に高いが、若干の低下傾向
- 次いで「市公式ウェブサイト」が約3割で、上昇傾向

○「市報みなみ魚沼」(86.2%)が8割以上で特に高く、次いで「市公式ウェブサイト」(29.4%)が約3割

○過去2回の調査と比較すると、「地域情報誌」「新聞」は前回より約10ポイント低下

○「市報みなみ魚沼」は若干低くなる傾向、「市公式ウェブサイト」は高くなる傾向



※「市の担当部署からの郵便物」は本調査、「窓口や電話等で直接問い合わせる」「特になし」は前回調査から設定

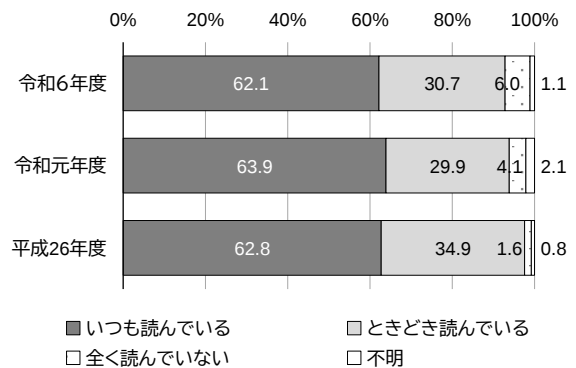
6 「市報みなみ魚沼」の評価

- ①「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。
- ②「市報みなみ魚沼」についてどう感じていますか。

- 合計値『読んでいる』が9割以上で、過去2回と同様の傾向

○「いつも読んでいる」(62.1%)が6割以上で最も高く、次いで高い「ときどき読んでいる」(30.7%)との合計値『読んでいる』(92.8%)は9割以上

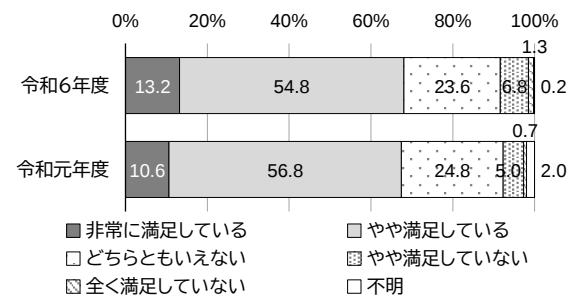
○過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られない



- 総合的にについて、合計値『満足している』が約7割で、前回と同様の傾向

○総合的満足度は「やや満足している」(54.8%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)が2割以上

○「非常に満足している」(13.2%)と「やや満足している」の合計値『満足している』(68.0%)は約7割で、前回(67.4%)と同程度



※調査では「総合的満足度」の他に、「読む媒体」(紙冊子、スマホ・パソコン等の電子媒体など)、「読みやすさ」「必要な情報を得ることができるか」「情報量の多さ」の4項目について評価する質問を設定

7 地域づくり協議会の認知度

「地域づくり協議会」を知っていますか。

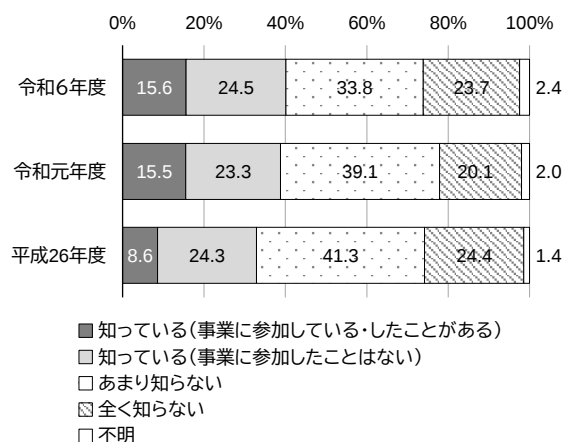
●合計値『知らない』が約6割で、『知っている』の約4割を上回る

●認知度は前回と同程度で前々回より高い

○「あまり知らない」(33.8%)が3割以上で最も高く、次いで「知っている(事業に参加したことはない)」(24.5%)、「全く知らない」(23.7%)がそれぞれ2割以上

○「あまり知らない」「全く知らない」の合計値『知らない』(57.5%)は約6割、「知っている(事業に参加している・したことがある)」(15.6%)と「知っている(事業に参加したことはない)」の合計値『知っている』(40.1%)は4割以上

○過去2回の調査と比較すると、合計値『知っている』は、前回(38.8%)と同程度で、前々回(32.9%)より高い



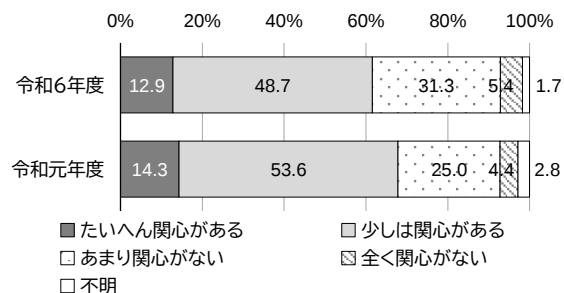
8 地域づくり活動への関心度

行政区や地域での行事や地域づくり活動に関心がありますか。

●合計値『関心がある』が6割以上で、前回より低い

○「少しは関心がある」(48.7%)が約5割で最も高く、次いで「あまり関心がない」(31.3%)が3割以上、「たいへん関心がある」(12.9%)が1割以上

○「たいへん関心がある」「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(61.6%)は6割以上で、前回(67.9%)より低い



9 南魚沼市の暮らしやすさ

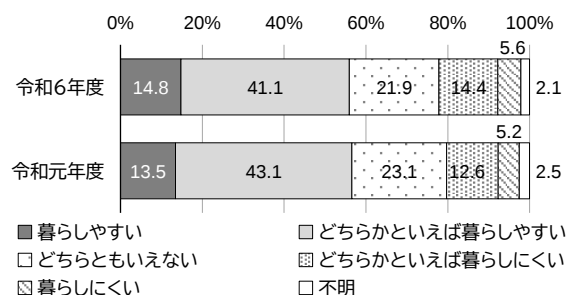
南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。

●合計値『暮らしやすい』が約6割、「暮らしにくい」が約2割で、前回と同様の傾向

○「どちらかといえば暮らしやすい」(41.1%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.9%)が2割以上

○「暮らしやすい」(14.8%)と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』(55.9%)は約6割、「暮らしにくい」(5.6%)と「どちらかといえば暮らしにくい」(14.4%)の合計値『暮らしにくい』(20.0%)は約2割

○前回調査と比較すると、大きな変化は見られない



10 暮らしにくさや不安

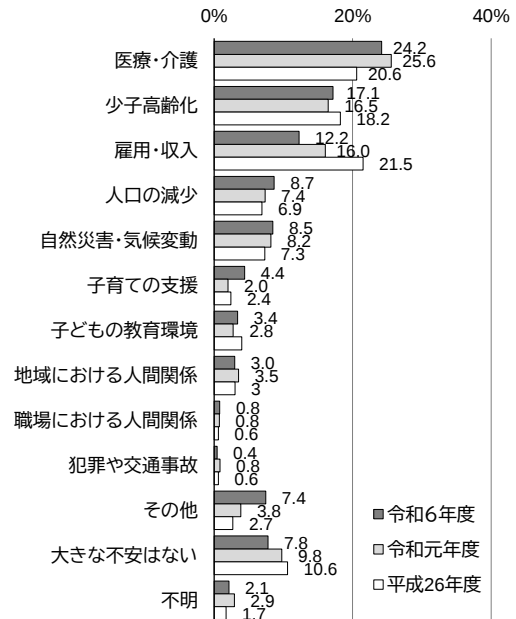
南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じることがありますか。

- 「医療・介護」「少子高齢化」の2項目が約2割、次いで「雇用・収入」が1割以上
- 「人口の減少」「自然災害・気候変動」は上昇傾向

○「医療・介護」(24.2%)、「少子高齢化」(17.1%)の2項目が約2割、次いで「雇用・収入」(12.2%)が1割以上

○一方、「大きな不安はない」(7.8%)は約1割

○過去2回の調査と比較すると、「雇用・収入」「大きな不安はない」は低くなる傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は若干高くなる傾向



11

働く環境としての南魚沼市の魅力

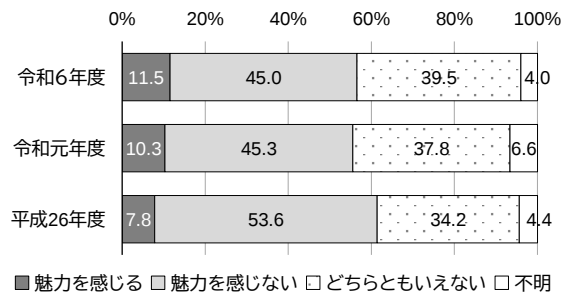
①働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。

②魅力を感じる理由・感じない理由は何ですか。

- 「魅力を感じない」「どちらともいえない」がそれぞれ約4割、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じる」は上昇傾向

○「魅力を感じない」(45.0%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(39.5%)が約4割、「魅力を感じる」(11.5%)が1割以上

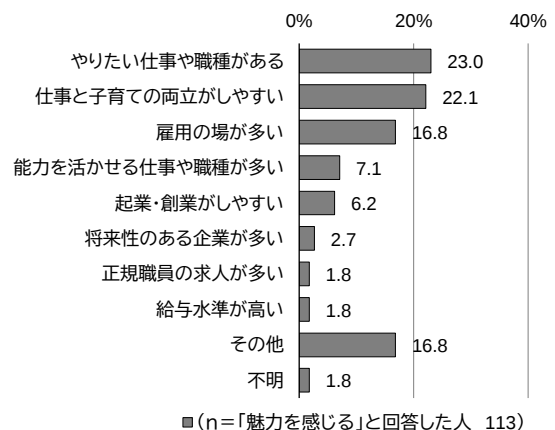
○過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られないが、「魅力を感じる」は若干高くなる傾向



- 「魅力を感じる理由」は「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」「雇用の場が多い」の3項目がそれぞれ約2割で比較的高い

○「魅力を感じる理由」は、「やりたい仕事や職種がある」(23.0%)、「仕事と子育ての両立がしやすい」(22.1%)の2項目が2割以上で同程度、次いで「雇用の場が多い」(16.8%)が約2割

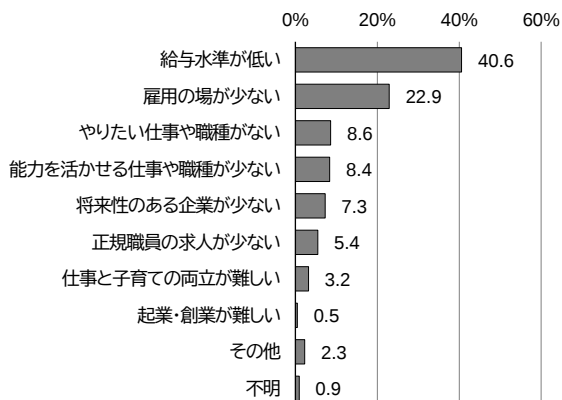
○「その他」の具体的記述内容は、自然の豊かさ、通勤のしやすさに関する内容などが複数見られる



●「魅力を感じない理由」は「給与水準が低い」が4割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上

○「魅力を感じない理由」は、「給与水準が低い」(40.6%)が4割以上で最も高く、次いで「雇用の場が少ない」(22.9%)が2割以上

○「その他」の具体的記述内容は、企業の規模に関する内容などが複数見られる



■ (n=「魅力を感じない」と回答した人 441)

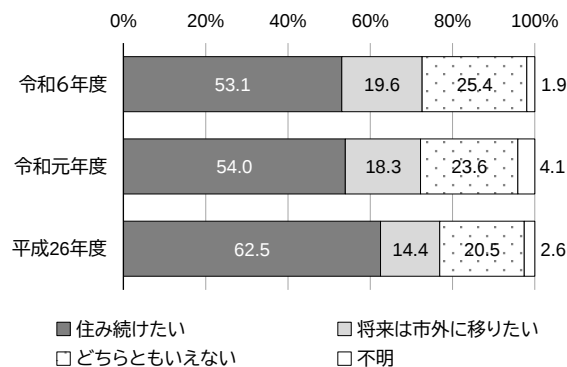
12 定住意識

南魚沼市に住み続けたいと思いますか。

●「住み続けたい」が5割以上、次いで「将来は市外に移りたい」が約2割で、前回と同様の傾向

○「住み続けたい」(53.1%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.4%)が2割以上、「将来は市外に移りたい」(19.6%)が約2割

○過去2回の調査と比較※すると、前回から大きな変化は見られない



■ 住み続けたい □ 将来は市外に移りたい
□ どちらともいえない □ 不明

※「将来は市外に移りたい」は平成26年度調査では「南魚沼市外に移りたい」として設定

13 自由記述

①南魚沼市の魅力や誇りを「ひと言」で
②南魚沼市への意見・感想

①南魚沼市の魅力や誇りについての「ひと言」では、「自然（環境）」や「四季」、「雪」、「水」、「米（コシヒカリ）」、「酒」、「人」など、約640件が寄せられました。

②南魚沼市への意見・感想として、430件以上が寄せられました。

これらの貴重な「市民の声」をこれからの南魚沼市のまちづくりに役立てていきます。

令和6年度 南魚沼市まちづくりに関するアンケート調査結果報告書（ダイジェスト版）

【作成】令和6年10月／南魚沼市 総務部 企画政策課 企画班 電話 025-773-6672